

3年 国語科研究授業のまとめ（11月26日）

1 単元名及び単元の目標

「もうどう犬の訓練」(6/12 本時)

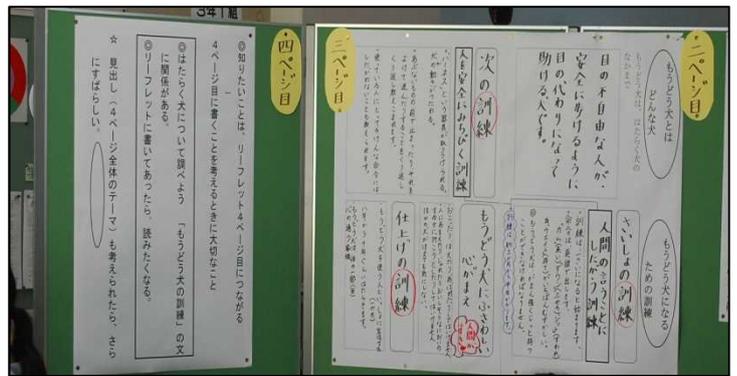
- ◎ 大事な言葉や文を見つけながら文章を読み、書かれていることを要約することができる。

2 本研究授業の提案について

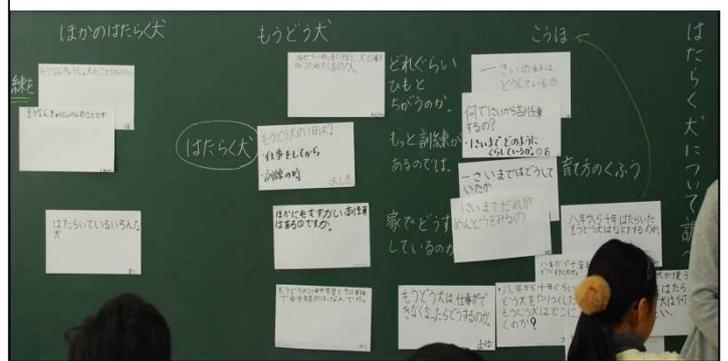
説明的な文章で、読み取ったことを基に、もっと知りたいことはどんなことなのか話し合いリーフレット作りに生かすための手だてとして、以下の二つの提案をした。

- (1) 中心になる文を見つけ大事な言葉を落とさずに要旨をまとめることができるために、手掛かりとなる言葉を明示し、大きく掲示した。「題に関係ある言葉」「繰り返し出てくる言葉」など、着目すべき言葉を掲示したことによって、的確に要旨をまとめ、リーフレットに記入できた。

- (2) 本単元のはじめには、「働く犬」について知っていることを話し合った。次に、リーフレットの2・3ページには本文に書いてある内容の要旨を記入し、4ページ目には各自が調べたことを記入するという、リーフレット作りの方法を知らせた。それによって児童は、単元全体の学習の流れを理解し、見通しを持ってリーフレット作りに取り組めた【資料1】。また、自分の調べたいことを大きなカードに記入させ、それを黒板に提示し発表の際には、理由も話すようにさせた。児童は、本文の内容を基にした理由を聞くことで、他児童の意見を納得して聞いたり、自分の調べたいことへの関心が広がったり考えが深まったりした。



【資料1 活動に見通しを持たせるための拡大リーフレット】



【資料2 意見を整理するための黒板掲示】

3 本研究授業の授業技術課題について

- (1) 事例を挙げながら筋道を立てて話せるようにするために、大きなカードに自分の調べたいことを記入させそれを提示しながら理由を添えて発表させた。児童は、拡大リーフレットと照らし合わせながら調べたい理由を聞くことにより、本文の内容から離れずに調べたいことを決めることができた。
- (2) 考えを広げたり深めたりするために、隣席の児童と話し合わせた後、学級全体で調べたいことについて話し合わせた。「調べたいこと」は、リーフレット4ページ目につながることや、4ページ目が「読み手が読みたいと思う内容であること」を、意識して話したり聞いたりさせたことで、調べることが調べる価値がある事柄になるようにした。調べたいカードを黒板に掲示する際には、もうどう犬とその他の犬に分けて掲示し、全体の意見を整理して分かりやすくなるようにした。全員のカードを掲示し発表させられるような時間配分の工夫が必要だった。

4 本年度の研究を振り返って

どちらの授業も、本文から読み取ったことを基に、1回目は感想を発表し合う、2回目はもっと調べたいことを決めるための話し合いをする授業をした。文中に根拠を見つけ話すこと、他児の意見を共感的な態度で聞くことが国語科の協働的な学習の土台であると強く感じた。その力を付けるために有効な発問や掲示物の活用を、今後も探っていきたいと考える。

